

教えて!! ドクター Q&A

除外をしなければなりません。

次の原因としては、気管支喘息の亜型である咳喘息、アレルギー性鼻炎、副鼻腔気管支症候群、逆流性食道炎、アトピー咳嗽、マイコプラズマウイルスや百日咳菌など感染後の遷延性咳嗽、喉頭アレルギー、心因性咳嗽などが考えられます。

するアレルギーの関与などが誘因、増悪因子と考えられますが、経過からはアレルギー性咳嗽のなかでも、咳喘息の可能性が高いと考えられます。咳喘息なら吸入ステロイドの早期導入が必要です。

長引く咳(慢性咳嗽)の原因は一つとは限らず、季節や経過の中で変化化する可能性もありますので、定期的な専門医の受診をお勧め致します。

Q 毎年秋頃(10・11月)に感冒を引いたのをきっかけに、春頃(2・3月)まで咳が続きます。昨年12月は特にひどく、マイコプラズマとアレルギーが原因といわれました。どう対策するのがよいでしょうか。

A 長引く咳(慢性咳嗽)の診断には、まず第一に胸部写真、必要なら胸部CT、心電図、採血検査などで肺癌、肺結核、肺非結核性抗酸菌症、慢性閉塞性

ですが、正確な診断をするのは専門医でも難しいと言われています。正確な検査や診断をせず、適切でない薬を処方された場合、多くの患者さんは咳をさらに悪化させ、苦しい時間が長引く原因となっています。

肺疾患、気管支拡張症、過敏性肺炎、心不全、肺塞栓といった重篤な疾患の

今回の問診からは、マイコプラズマなど感染症の関与、寒暖差やカビやほこり、秋花粉、黄砂などに対

神戸大学医学博士。日本内科学会内科認定医。日本循環器学会循環器専門医。日本抗加齢学会正会員。高濃度ビタミンC点滴療法学会正会員。神戸大学病院や民間病院で20年以上多数の心臓ペースメーカーやカテーテル手術をはじめ、生活習慣病や人工透析にも携わる。クリニック開院以来、循環器、呼吸器疾患からエイジングケアまで幅広い年齢層の患者様が数多く来院される。



北村内科クリニック
理事長 北村 秀綱